

次世代電カスマメ会議資料

2020.10.28

ミツウロコヴェッセル 営業部門管掌 今宿

◆ LPG事業者が利用するガスメーターには下記役割が求められております

- ① 検針業務の自動化
- ② 配送業務の合理化
- ③ 保安業務の高度化

通信回線 (LPWA) を利用

①② ガスメーターの指針値をホストセンターへ通知(1日1回)

ホスト側の受信データーを「検収・請求」システムへ回送

ホスト側の受信データーを「配送システム」へ回送、配送日時を指示。

③ 緊急時(通常時もあり)センター側からメーターへ閉栓指示

◆ LPWA利用のガスメーターの設置基準は下記の通りです

- LPWA端末の設計手法(双方向・片方向)により設備基準は大きく異なります。
 - 通信1回あたりのデータ量が少ないため、通信量より通信回数に左右されます。
 - 伝送端末は、下記条件で10年の耐用年数です。
 - ・ 定時検針は1回/日
 - ・ メーター発呼は3回/月(メーター側からセンター側へ情報送信)
 - ・ センターポーリングは1回/月(センター側からメーターへ指示送信)
- * WAN側通信が強エリア内であることが条件です。

◆ 次世代電カスマメに対して必要な仕様は下記のとおりです

- ガスメーターと通信可能な通信I/Fの搭載

Uバスエア

- * マンションなどでは有線接続も検討の余地あり